当院外科で感染症治療を受けた方へ

要旨
2021 年 4 月 1 日から 2026 年 4 月 31 日までの間に当院外科で感染症治療を受けた方のうち、抗菌薬に耐性化しやすい細菌が検出された方（感染症治療を受けた方のうちの 10%未満）について、治療に使用した抗菌薬の種類と、治療経過などをカルテ情報から収集し、今後、同様の細菌が検出された際に、治療抗菌薬を種類を決定するための材料となる情報を収集する研究を考えています。当研究への協力を希望されない場合は，研究担当者までお問い合わせ下さい.

■研究の名称:消化器外科領域における AmpCβ-ラクタマーゼ産生菌に対する抗菌薬選択と治療戦略の検討

■研究目的・方法・対象
感染症では様々な細菌が原因となり得ますが，その中でもAmpCβ-ラクタマーゼ産生菌と呼ばれる細菌は治療に際して広域抗菌薬を使用することが一般的です．しかし広域抗菌薬を使用すると，抗菌薬に対する耐性菌を招く可能性があります．そこで当科ではAmpCβ-ラクタマーゼ産生菌に対してより狭域な抗菌薬を第一選択として使用しています．当科でAmpCβ-ラクタマーゼ産生菌が検出された患者さんを対象に治療経過を解析し，当科の治療成績を調べることが目的です.

■研究期間
承認日～2029年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類
2021年4月1日から2026年4月31日までの間に当科にてAmpCβ-ラクタマーゼ産生菌が検出された方を対象とします.
調べる予定の情報は以下のようなものです.
入院時病名，検出菌名，標本材料，使用抗菌薬，抗菌薬投与期間，AmpC過剰産生の有無，治療経過など.

■個人情報の開示に係る手続きについて
本研究では，個人を特定できないように症例のデータを収集します．使用に際しては，政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し，研究結果の発表に際しても，個人が特定されない形で行います．みなさまに新たにご負担頂くことはございません．当研究への協力を希望されない場合は，研究担当者までお問い合わせ下さい.

■研究責任者：
京都医療センター外科　畑　啓昭

■お問い合わせ先

京都医療センター外科
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1
電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載